

6/2

伝統文化芸能の伝承

せせらぎの舞実行委員会からの寄贈



せせらぎの舞実行委員会より、市内小中学校の教材として活用して欲しいと古典芸能を収録したDVDの寄贈がありました。

寄贈いただいたDVDは、狂言「^{すはじかみ}酢薑」、能「^{きくじどう}菊慈童」をはじめ、狂言の鑑賞ポイント解説や能装束着付け実演解説なども収録されています。古典芸能の知識を深める教材として、市内小中学校で活用させていただきます。

6/1

災害に備えるために

一般社団法人日本道路建設業協会からの寄贈



一般社団法人日本道路建設業協会より、災害時に道の駅で使用してほしいと「発動発電機」の寄贈がありました。

寄贈品は、災害などによる停電への備えとして道の駅那須与一の郷に配備し、道の駅を訪れる観光客や地域住民へ「安心」を提供するため、幅広く利用させていただきます。

6/24

自転車活用推進功績者表彰受賞

那須高原オールスポーツアソシエーション
表敬訪問

自転車愛好家団体「那須高原オールスポーツアソシエーション」が、令和3年度自転車活用推進功績者として、国土交通大臣から表彰を受け、市長を訪問しました。団体の長年の活動が評価されたことによる受賞であり、今後も活躍が期待されます。なお、7月24日、25日に開催された東京2020オリンピック男子自転車競技ロードレースおよび同女子自転車競技ロードレースに、那須高原オールスポーツアソシエーション大田原支部の方が、大会スタッフとして参加されました。

6/11

コロナ禍に癒しの提供

よいち産直会からの寄贈



道の駅那須与一の郷よいち産直会より、新型コロナウイルス感染症の対応に携わる皆さまへ、「フラワーアレンジメント」の寄贈がありました。

アレンジメントに使用されている生花は、すべてよいち産直会の会員の皆さまが手塩にかけて生産したものです。寄贈されたアレンジメントは、本庁舎内に飾り付けさせていただきました。

6/28

図書購入を支援し地域貢献

株式会社日之出水道機器 日之出文庫寄附



図書館への寄附として、日之出水道機器株式会社栃木工場の長野高土工場長から津久井市長に寄附金 50 万円の目録が手渡されました。同社からの寄附は、昭和 63 年から今年度にかけて 29 回目となり、総額 1,950 万円の寄附をいただいています。図書館では、この寄附をもとに日之出文庫として書籍や視聴覚資料の購入をしており、昨年までに購入した書籍や視聴覚資料は 8,407 点になり有効活用させていただいています。

6/28

優良建設業者を表彰

令和 3 年度大田原市優良建設業者表彰式



市では、令和 2 年度に工事を優秀な成績で完成させた建設業者の表彰を行いました。表彰を受けた業者は次のとおりです。

- 土木部門…(株)猪股建設、(株)館林工業、(株)佐藤組
- 舗装部門…(株)大岩建設、天野建設(株)、(株)館林工業
- 建築部門…那須・桜岡・大一特定建設工事共同企業体、(有)アルファ東宝
- 電気部門…三和・栃電工特定建設工事共同企業体
- 機械部門…大橋・伊藤特定建設工事共同企業体
- 水道部門…(有)野崎工業

市史編さんだより vol.10

現代部会調査速報③ ～大田原の夏祭り～

問文化振興課 本4階 TEL(23)3135

本号と次号では夏祭りを取り上げます。昭和 29 年(1954)12 月に大田原市が誕生し、市として初めてとなる夏祭りは、「納涼祭」という名称で行われていました。

昭和 31 年(1956)の記録では、8 月 4 日から 13 日までの 10 日間の日程で開催され、花火大会や七夕コンクールなどの多彩な催事があり、人出は 3 万人を超えたといえます。左下の写真は、昭和 41 年(1966)8 月の納涼祭でのレーシングカー遊びの様子で、当時の子供たちの流行がよくわかります。

また、納涼祭での催事の一つとして、「納涼民謡踊り大会」が行われていましたが、昭和 46 年(1971)からは、大田原小学校の校庭で、より規模の大きな「大田原盆踊り大会」が本格的に開催されるようになりました(写真中央)。当時、盆踊りは多くの地区において、小規模ながら数多く実施されていた夏の風物詩です。

昭和 56 年(1981)には、市民が一体となるお祭りとして、個人をはじめ市内のすべての自治会や会社などが流し踊りに参加する一大イベント「大田原ふるさと祭り」が誕生します(写真右)。3 年後の昭和 59 年(1984)には、「与一まつり」と名称を変更して現在に至っています。

次号では、旧黒羽町・旧湯津上村の夏祭りの歴史を振り返ります。

(現代部会長 木下 義文)



納涼祭



大田原盆踊り大会



第 1 回大田原ふるさと祭り